

令和2年度第2回八幡平市環境審議会 会議録

日 時	令和3年3月1日（月） 14：00 から 16：00
場 所	八幡平市役所ホール棟大ホール
内 容	1 開会 2 市長あいさつ 3 会長あいさつ 4 議事 (1) 地球温暖化対策実行計画【区域施策編】年次報告（令和元年度実施状況） について 5 その他 6 閉会
出席者	【委員 14名】 竹原明秀委員、沖野智章委員、遠藤忠志委員、千田康洋委員、高橋正志委員 高橋富一委員、田中耕一委員、畑山勝美委員、高橋恵子委員、三浦史人委員 田村正之委員、芳門重信委員、浅利一成委員、佐藤勤委員 【事務局等】 田村市長、津志田総務課長、田村企画財政課長、渡辺地域振興課長 佐々木農林課長、関本建設課長、工藤教育総務課長 （事務局：市民課）小笠原市民課長、工藤環境企画係長、土村主任

会議録	
	1 開会
副市長	2 市長あいさつ
会長	3 会長あいさつ
	4 議事 (1) 地球温暖化対策実行計画【区域施策編】年次報告（令和元年度実施状況） について
事務局	第1章～第3章について説明。
	質疑応答
会長	市民1人当たりの削減率と温室効果ガス削減率の違いは何ですか。
事務局	一人当たりの削減率は人口で割り返して算出し、そのほかに市域全体で39%の温室効果ガスを削減する目標となっております。
事務局	第4章、基本方針1について説明。
	質疑応答
委員	各施策の実績がわからない。やる前、やった後、数字が見えない。周知についても客観的な度合いについて、何人の閲覧があったのか、何回行ったのか、数字的に評価できるものを知りたい。

会長	評価をするというのは難しいところがある。最終的にどこにもっていくのか目標値はどうするか。
委員	ホームページ閲覧数などわかるのであれば、カウント数があればよい。
事務局	ホームページ担当のほうへ閲覧数などがわかるのかどうか、確認する。
会長	今後、何か考えてできるか実績の中にも広報するという表現と、数字が出ているものがある。6ページの進捗があるが各取組状況の隣に実績を設けたほうが良い。
委員	人数・%とかの管理指標で管理すればよいのでは。盛岡は進行管理指標（人数・回数）を設けてやっている。
会長	令和3年度の間検証時に検討していただきたい。細かい数字をここで評価は出来ない。
事務局	第4章、基本方針2について説明。
	質疑応答
委員	平笠小学校では、火山防災教育を行っている。いままで、啓発等をホームページで行っていると記載されているが、ホームページ以外にはどのような啓発方法があるか知りたい。
市長	例えば、地熱関係であれば、経済産業省が8月10日を地熱の日と指定した。
事務局	地熱のイベントでは、令和2年度の話になるが3回行った。国の補助が使えないのでジョグメックが開催している。地熱関係の企業とか地主とか一般の方との理解を深めることが目的。
市長	例えば、県の補助を受けることができると周知したのであれば、何件申請があったとか、庁内の省エネ行動の徹底であればいくら電気代が安くなったのか、エネルギーの地産地消であれば何件の契約があるのか、数字を載せたほうが議論になる。
会長	この計画について、範囲がどこまでなのか把握することが必要。公共施設部門でも、小学校とか、上下水道施設などはどのようになっているのか。
委員	計画策定の趣旨で範囲は市民・事業者・市役所と書いている。
事務局	小学校・上下水道施設担当については、環境基本計画の関係で、電気使用量など聞き取りを行っている。ただ、民間のほうに対しては、聞き取りを行っていない状況。
委員	盛岡市の計画書では、目標があって管理指標がある。八幡平市でも出せるところを出していったらどうか。例えば周知して終わりではなく市内企業の上位10社から聞き取りを行うなどできることはある。そのほかにも、市内のハイブリット車の台数を調べることもできるのではないか。
事務局	第4章、基本方針3について説明。
	質疑応答
市長	風力発電について、まさに国立公園内、北の又から北側へ向けて作りたいと相談があった。許可権者ではないが、到底容認できない旨話をしたことがある。林野庁のほうにもそういった相談というのはあるのですか。
委員	二戸・浄法寺のほうに作りたいという相談が来たことがある。ただ、林野庁としても色々な法律の網をかけて対応している。例えば、猛禽類に影響が出ないかどうかなど慎重に判断している状況。

市長	風力発電所ができるとそれに伴い管理用道路ができる。そうするとその道路を使ってキノコ採り等住民が入ってくるという問題もある。
会長	牧草地に太陽光発電所を立てるという話も聞いたことがある。
市長	牧草の管理組合で経営的に苦しいところが狙われている。
事務局	第4章、基本方針4について説明。
	質疑応答
会長	森林の保全とありますが、市全体の森林はどの程度あるのでしょうか。
事務局	市全体の森林は、68,782ha、そのうち国有林が45,452ha、民有林が23,242ha 市有林は4,697ha となっています。
会長	ということは、森林の補助件数というか実施面積はほんの少しということになるのですね。
事務局	そういうことになります。
委員	今の森林は45～55年経過している森林で伐期が来ている。とにかく伐採したのちきちんと植林してほしい。そうすれば、20～30年後にカーボンオフセットの対象となる。
会長	吸収量算定の基礎になると思う。
事務局	第4章、基本方針5について説明。
	質疑応答
委員	ここも、数値指標がないので、どうなったのかがわからない。
事務局	数値指標は無いが、個人的には、サロンに入って雑がみ等の分別の説明をした時に手ごたえを感じている。
会長	買い物袋の政策はいつから変わりましたか。
事務局	令和2年7月から有料です。今回の報告は令和元年度の実績ですので、買い物袋の持参等の啓発を行っています。
委員	まず、生活系ごみとは？
事務局	ステーションに出されたものと、直接清掃センターへ搬入されたものです。
委員	単年度ごとに数字がわかれば傾向もわかるのではないかと。
事務局	市の生活系ごみは平成29年度から増加傾向にあります。事業系ごみは減少しております。
委員	3Rで動いているが最近では4Rになっているところもある。「リペア」を加えている。最近では修理して使うということが少なくなっている。故障したとき基盤を取り換えると買った時と同じ値段が必要という話もあるが、直せるものは直して使うことも必要と思う。
	基本方針全体を振り返って
委員	エネルギーの地産地消というのが数字的にはどのようになっているのか。
市長	いわて地熱では、7,500kwの発電量に対して3,000kwが契約となっている。電力の小売りについても自前で発電した電力を販売するのであれば問題ないが、他人

	が発電した電力を買ってきて売るとい新電力会社が鹿角市にあったが、今年の冬の寒波で電力需給がひっ迫して電気代が高騰し、ダメになったところもある。後発である安比地熱に対して市として協議しながら、出資ということになればイメージアップにつながることもあるしそれを基にほかの地域にも販売できるようになる。
事務局	第5章について説明。
	質疑応答
会長	この数字を分析する際に八幡平市としての特徴というものはあるのでしょうか。一人当たりの総排出量は減っているが…。
市長	この計画書は、葛巻とか岩手町でも作っているのか？
事務局	中核市以上の市は、確実に作らないといけないですが、それ以下の市町村では任意になっています。近いところでは、盛岡市・久慈市が作っています。
市長	久慈などと比較するのを見てみたい。
会長	でも、国の統計からの数字だから特徴というものは出にくいのですか。
事務局	ほかの市の数字なども確認しながら八幡平市の特徴について確認したい。
会長	以上で終わります。
	閉会